者が２１５１件、不搬送が１１２件。傷病者の搬送人員は２２３２人。そのうち市外の病院搬送人数が１４６９人で市外搬送率65.８％という状況である。

また、平成18年中に救急車３台が同時に出動する場合が98件、４台目の同時出動が16件あった。東部地区で２台同時に出動すると賄えるが、さらにもう一報が入ると、西または昭和から出動することとなり、その部分到着が何分か遅れてくるという状況になる。

（消防長）

笠原武士

事業評価制度の確立について

問 現在各部署で実施のハード事業について、どのように計画を立て、その結果をどのようにフォローしているのか。各事業の計画及び結果は公開しているのか。事業実施における各種トラブルを減少させるため、事業の計画、実施、フォローの過程をより透明化することが望ましいと思うがどうか。

また、過去のトラブルを十分反省して、事業評価制度を導入すべきと思うがどうか。

答 市の行うハード事業については、計画策定としてまず総合計画があり、さらに３年間の実施計画を策定し、事業推進に向けて予算編成となる。特に重要なものについては、事前に該当委員会の調査研究会をお願いし、予算及び決算の際に、該当委員会を通じ議会へ説明している。事業の計画実施過程の透明化については、積極的な情報開示等により、一層開かれた行政であるよう努めてまいりたい。事業評価制度については、今後行財政改革を推進し、事務事業の適正化を図ってまいりたい。

（市長）

観光行政について

問 本市の観光行政のねらいは何か。その観光のねらいを達成するために過去５年間の人、物、金をどのようにいくらかけているのか。ただ毎年やるだけでは、マンネリになるので具体的数値をもって行うべきではないか。本市に何が足りないから素通り観光地になっているのか。観光先進自治体との違いはどこか。

答 本市には数限りない史跡、文化財がある。そういったものを含めて、本物志向の観光を売りに取り組んでいる。投入実績は、平成14年度商工観光課職員は９人体制であったが、定員適正化計画により現在８人体制となっている。投入金額は、平成14年度１億４７７６万３千円余り、平成18年度決算見込で１億７１５３万８千円となっている。

ハード事業としては、国民宿舎サンロード吉備路、駅前観光案内所新築等がある。昨年度の主なイベントの来場者数は、れんげまつり約３万人、市民まつり約４万人、商工まつり２千人、れとろーど約４千人となっている。数値目標は、観光客数年間１００万人を掲げている。各イベントの目標としては、現状維持あるいは現在以上のものを求めることが大切ではないか。観光先進自治体との差は、観光地を効果的に結ぶ観光ルートが設置されていないことや、特色ある特産品や飲食施設がやや少ないが、特色を生かした観光事業、本物志向の観光を目指してまいりたい。

（市長）

総社市民まつり「雪舟フェスタ」

丹下茂

市政について

問 市民アンケートというと、市の総合計画などを策定するために意識調査を行うのが通常であるが、何を重点的に調査するのか。また、アンケート内容について誘導的なものでなく、本来の市民意識を吸い上げられるようなものにしていく必要性があると思うがどうか

ケーブルテレビ整備事業の未実施地区について、行政がある程度リードしながら進めていく必要がある。今後残りの部分の整備計画、方針はどうか。

答 アンケートの内容については、市政への関心度をはじめ、将来の総社市の方向性、身近な暮らしや施策の満足度などの設問を設定し、合併や社会情勢の変化に伴う市民意識の推移や施策の方向性などを調査したい。

ケーブルテレビ整備事業については、地上デジタル放送への対応やブロードバンドの普及、市議会中継をはじめとする地域情報の提供など地域間情報格差の是正を図るためにもさらに力を入れ取り組んでまいりたい。

（市長）

答 アンケートの内容については、市への関心度、定住性、住みよさ、市の将来像などで、今後定点観測的な意味で継続実施できるような内容にしていくため、特定の項目でなく市政全般にあたる内容としたい。

（総務部長）

萱原潤

住民基本台帳について

問 住民基本台帳法の一部を改正する法律案が、今年３月の国会に提出されている。今回の改正案では、個人情報保護に十分留意した制度として再構築するとともに、転出等の際の本人確認を厳格化し、なりすまし防止を図るものである。そこで、本人確認ということで、住民基本台帳カードは写真つきにすると本人確認に最適なものであると思うがどのように考えるか。また、その推進を図っていくような取り組みを考える必要があると思うがどうか。

答 法律の一部改正によって本人確認が義務付けられるということになると思う。現在、写真つきと写真がないカードとがあるが、同じ料金であるので写真つきの住基カードを持っていただくと、非常に有効である。他にも括用できることが多々あるので、これの普及率向上に努力してまいりたい。

（市長）

住民基本台帳カード

このほか、教育問題について質問をしています。

北の吉備路（鬼城山及びその周辺）について

問 北の吉備路、鬼ノ城及びその周辺の持続可能かつ賢明な利用・活用についてどう考えているのか。また、鬼城山を中心とした卓越した文化遺産、そしてビジターセンターの今後の持続可能かつ賢明な利用・活用を考えるとき、受益者負担についての考え方はどうか。北の吉備路における市道改良工事のあり方はそれらに大きく影響を与えると考えるがどうか。

答 鬼ノ城を中心とした北の吉備路は個人的にも好きである。一度壊してしまったらもとに戻らない。大切なかけがえのない自然を守るためにも、市道改良工事についても、自然の負荷を極力少なく自然環境、景観を壊さない方法で、対応してまいりたい。受益者負担の考え方であるが、いろいろな方法が考えられるが、強制や料金設定するのではなく、これからもできるだけ多くの方に協力を得られるよう考えていきたい。

（市長）

答 鬼城山及びビジターセンターについては、歴史と自然の野外博物館を基本理念として整備を進め、活用を図っている。文化財としての鬼ノ城と良好な自然環境が一体となり、両者が相乗効果を発揮し合えるような、総社市を代表する自然と歴史と文化の核的空間として、好ましい姿で後世に伝えられるよう努力をしているところである。今後も、基本理念に沿った文化財と自然環境の保全を主眼とし、鬼ノ城の魅力を広く啓発し、この地にふさわしい活用が図られるよう努力してまいりたい。

（教育長）

鬼ノ城について学習できるビジターセンター